

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

新年あけましておめでとうございます

旧年中は格別のご厚情を賜り 誠にありがとうございました
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により
 本年の活動も先行き不透明ではございますが
 みなさんとともにできることから活動を進めていく所存です
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会

山口大学秋吉台アカデミックセンターの活動
-その1-

山口大学秋吉台アカデミックセンターは、平成29年3月に美祢市と山口大学の包括協力協定の下で、設立されました。主な業務は、山口大学における美祢市を対象とした研究・教育の推進と補助、美祢市の要望に応える地域支援、それとMine秋吉台ジオパークに係る支援と協力です。つまりその活動の大半が、山口大学による美祢市への地域貢献なのです。美祢市への貢献は、山口大学の研究・教育・地域連携と多岐に渡っています。これから、このGEO協議会だよりでは、山口大学秋吉台アカデミックセンターの活動を数回に分けて紹介して参ります。

アカデミックセンター長 脇田浩二

これから数回のシリーズで紹介します。お楽しみに♪



みんなで体験

黒いジオサイト

整備も順調!



現在、活動応援事業補助金を活用して7団体がジオパーク活動に取り組んでいらっしゃいます。

そのうちの1つである「桃ノ木ボタツ子クラブ」の方々が、旧大嶺炭田地域の歴史文化を語り継ごうと、桃の木露天掘り跡と石炭層を巡って説明する見学会を開かれました。

参加者の中には、桃ノ木露天掘り跡を初めて見たという方も多く、炭鉱で働いていたこともある同団体会長の山本さんの熱心な説明に、深く感じ入っている様子でした。

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会は、今年度から3年間でこの周辺の旧大嶺炭田地域を、皆さんと一緒に整備して、周遊できる状況にしていきたいと思っています。



秋往還日記 第2巻

トリストラン便り

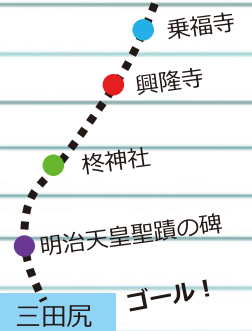
スタート!

今回は、認定ジオガイドの吉松三男さんをガイドに、五重塔から防府市の三田尻までの約30kmのコースを歩きました。文化や歴史は地域の誇りです。市内外の歴史に目を向けることは、新しい発見につながります!



● 乗福寺

乗福寺は臨済宗の古寺で、大内氏22代重弘が開いたお寺です。元応2年(1320)3月6日重弘が死亡したため、この寺に葬り菩提寺となりました。寺が栄えていた時は、塔頭36ヵ所、寺88ヵ所あったと言われますが大内氏滅亡と共に衰廃しました。



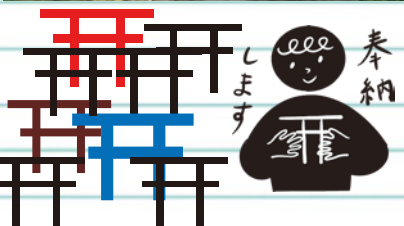
● 興隆寺の梵鐘

大内義隆が享禄5年(1532)に大内氏の氏寺興隆寺に寄進したものです。総高が189センチ、口径が111.8センチの巨鐘で、朝鮮鐘の影響を多く受け、随所に装飾がにぎやかにつき大内文化を代表する工芸品です。興隆寺は大内氏の氏寺で大内氏の全盛の時は非常に栄えましたが、大内氏滅亡後は衰え、明治になるとお寺もなくなりました。



● 柊神社

この社は柊大明神と称し、境、柊の二地区の鎮守で、毛利宗広の二女誠姫がこの神社を再興したものです。昔から婦人病の者が鳥居を奉納して祈れば神様のご利益を与えると伝えられ、遠近から婦人の参詣者が多かったそうです。



● 明治天皇聖蹟の碑

鯖山峠では、昔、明治天皇が騎馬で峠を越えられた「明治天皇鯖山御小休所跡」がありここで公爵毛利元昭の筆による明治天皇聖蹟の石碑が立ちます。(※聖蹟とは天皇が御旅の途中で休息や宿泊した場所のことです)



10月7日から9日まで北海道の三笠ジオパークで開催された日本ジオパークネットワーク全国研修会に参加してきました -Vol.3-

研修会に参加して、一番印象に残ったのは三笠の「ヒト」でした。ワイン生産者の山崎さん、三笠高校生、三笠高校卒業生の地域おこし協力隊、三笠市役所の方々、三笠市立博物館の館長さんなど、たくさんの方にお会いしましたが、みなさんそれぞれの立場で三笠の魅力やジオパークについて熱く語っていたのがとても印象的でした。この研修会で学んだことを生かし、Mine秋吉台ジオパークの魅力をもっと発信できるよう頑張っていきたいです!

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会 事務局



Pride of my Geopark

